

平成 25 年度事業報告

自 平成 25 年 04 月 01 日
至 平成 26 年 03 月 31 日

経済環境と協会活動概況：

平成 25 年の総広告費は、電通調べによれば、景気回復傾向の中にあつたものの、前半は、広告費全体の押し上げまでには至らず、後半は、消費税増税前の駆け込み需要の影響が出始め、通年での総広告費は 5 兆 9,762 億円、前年比 101.4%と増加した。

プロモーションメディア広告費も、2 兆 1,446 億円（前年比 100.1%）と僅かながらプラスとなった。モーターショーなどの展示会、商業施設における各種媒体やイベント、交通広告におけるデジタルサイネージ、POP などが増加要因となった。

一方で、印刷および用紙代の上昇により用紙サイズの縮小がみられる「折込広告」、「DM」、「フリーペーパー・フリーマガジン」「電話帳」が、前年割れとなった。

同調べによれば、「POP 広告」は 1,953 億円（106.0%）と、消費増加の兆しを見込み、前年に引き続き増加。業種別では、「自動車・関連品」が好調だったことに加え、料金割引・乗り換えキャンペーンで活性化した「情報・通信」や、消費者向けのキャンペーンが増加した「食品」「飲料・嗜好品」などが伸びをけん引した。また、インターネット広告と店頭を組み合わせる展開が進み、ネットで店頭誘引を図り、最終の購買を POP 広告で動機付ける手法が増加していると分析している。

以上の通り、景気の回復傾向にも助けられ、何よりも会員各位の絶大なご協力と、第一次堀理事会の的確なリーダーシップにより、協会活動は、順調に行われた。今期の成果として、以下を報告出来ることは、感謝に堪えない。

- ① 「プロモーション・マーケター認証資格制度（富田委員長／齊藤常任理事・安藤副理事長）」は、第 9 期までの累積受験数が 7,299 人となり、有資格者数は 4,394 人に至った。非会員社の受験派遣比率も 53%と依然として高く、業界全体へと資格制度が浸透していることが明らかとなった。
- ② SP 業界全体のビジネス・スキルの向上を目的に設立された、東京都公認の職業能力開発校「JPM ビジネススクール」を始めとする「教育事業（堀井委員長／齊藤常任理事・清水副理事長）」は、当期、受講促進活動を積極的且つ体系的に展開し、参加延べ数 198 人（目標 190 人）の成果を得た。また、この事業推進に関連し、齊藤常任理事が東京都産業労働局長より功労者として表彰されたことは、JPM 活動の社会的な評価を獲得する象徴的な出来事であった。
- ③ 「グッドウイール・プロモーション・アライアンス推進委員会（田中委員長／窪田常任理事・新井副理事長）」は、平成 23 年の大震災直後より、今後のプロモーションのあり方を求め準備委員会が組織され、同年 9 月の理事会（112 回）で設置が承認された。今期も、毎月、欠くことなく委員会が開催され、プロモーションを①社会価値性②効果性③遵法性の 3 つの視点から、プロモーションの新たな取り組みを推進するため、「GPA 主査制度」を設け、2014 年の協会展より「GPA 賞」の展開に向け、具体的な運動を開始した。
- ④ 協会機関誌「JPMnetwork（小林委員長／吉村常任理事・安藤副理事長）」を毎月発行し、また「JPM マネジメント定例会（栗原委員長／斎藤常任理事・清水副理事長）」を継続し、当期は延べ参加者数 256 人（前年度 237 人）とする等、会員間の交流機会を確実に広げた。
- ⑤ 「協会展（久保田委員長／吉村常任理事・新井副理事長）」は、依然、収益面での課題は抱えつつも、当期は作品出展で昨年に及ばなかった（733 点／前年 802 点、目標 750 点）ものの、購買時点での問題解決力に優れた多くの創造性と企画力を顕彰することが出来、来場者数が 5,630 人と昨年（5,076 人）を大幅に上回り、プロモーション業務への関心が強まっていることが確認された。
- ⑥ プロモーション・ビジネス研究委員会（北川委員長／窪田常任理事・新井副理事長）が実施の第 11 回 JPM プランニング賞受賞企画の中から、プロモーション企画の世界コンテスト GLOBES Awards へ 8 点が応募し 6 部門で入賞を果たした。同じく、国際企画コンテストである「International Marketing Excellence Award 2013」へ 2 点を選出し 1 点が最高の金賞を獲得、日本のプロモーション企画力を、世界にアピールした。

以上、当平成 25 年度（第一次堀理事会）は、経済環境こそ厳しいものであったが、「プロモーション・マーケティング」の浸透の具体化として、プロモーション・ツールを有効化する価値をつくる人材を育成する、つまり『創る人』をつくる」というテーマのもとに、大きく協会活動を進展させることができた。

今年もまた、新たな希望と期待のうちに新年度を迎えられる幸せは、ご同慶の至りである。

平成 25 年度の各委員会の活動は、下記の通り実施された。

総務委員会 (委員長 宮瀬 健/清水副理事長)

1) 通常総会の開催

第44回通常総会 平成25年6月18日(火)

出席者 会員代表者 149名(委任状出席者 87名含む) (前年120名)

会場 東京會館「ロイヤルルーム」

記念講演 和田龍夫 氏(サントリー酒類株式会社 宣伝部長)

(テーマ) 「サントリーのプロモーション・マーケティング ～角ハイボールの事例」

2) 財務管理

会計監査の実施

平成25年度の会計監査を平成26年5月14日(水)に実施

監査は、横山監事、堀内監事、高田税理士、坂井田専務理事。

3) 会員名簿の発行

会員名簿を平成25年7月に発行し、会員に限定し配布した。

会員の入退会 (平成26年2月末見通し)				
	25年度期首	入会	退会	25年度期末現在数
正会員A	205	4	18	191
正会員B	9	1	1	9
海外会員	13			13
賛助会員	2			2
合計	229	5	19	215

4) JPM新年会

昨年に引き続きJPM新年会を開催。

日時 平成26年1月20日(月) 18:30～20:30

場所 日本印刷会館 2F会議室

参加者 52社 131名 他に招待24名(プレス含む)

※平成25年(1～12月)の新入会員8社のうち5社が参加した。

国際委員会 (委員長 澤田 利憲/草賀常任理事・安藤副理事長)

1) JPM GLOBALSHOP 2013 視察ツアー

米国シカゴで開催の「GLOBALSHOP 2013(4月16日～4月18日)」の見学およびニューヨークでの店舗視察ツアー(4月14日(土)～4月19日(金)までの7日間)に参加。

8社から15名が参加。

会員増強・会員交流委員会 (委員長 栗原 敦/清水常任理事・清水副理事長)

1) 「会員増強活動」について

事務局主体による入会促進活動 報告 <5月、9月、11月>

業界データから選定した新規候補リスト (300社) を作成し、定期的に「入会検討お伺い」他を送付し、「入会意向」を聞く方式で、新会員入会促進活動を行なった。

○送付日：5月28日／7月23日／9月18日／11月6日

○送付物：入会意向伺い文書、協会パンフレット、事業概要紹介、会員メリット、機関紙Network

<9月>新規候補リスト (200社) に基づき、協会事業への接点づくりとして、協会展に招待。

入場引換券を送付し、5社が参加した。

<11月>同様に、贈賞式への招待として見学券を送付し、2社参加。

結果：「入会意向なし」と返答した企業、6社。「説明希望」3社に、訪問・メール・電話にて行ったが、入会に至った企業なし。現在1社入会検討中。

入会申込企業	紹介会社	備考
Smart & Co.Japon(株)	(株)東北新社	2013年3月入会
タイヘイ(株)	(株)博報堂プロダクツ	2013年3月入会
(株)パルディア	(株)フロンティアインターナショナル	2013年3月入会
アート印刷株式会社	(株)電通テック	2013年6月入会
株式会社 相互	森紙器(株)	2013年6月入会
株式会社 イグニションズ	東京リスマチック(株)	2013年9月入会
株式会社 TMC	シーレックス(株)	2013年9月入会
ソフトバンクモバイル株式会社	(株)電通 (株)博報堂	2013年9月入会

2) JPMゴルフ大会(通算71回)の開催

開催日 平成25年6月21日(金)

場所 武蔵カントリークラブ・豊岡コース

参加者 14社から計16名が参加。

3) JPMマネジメント定例会

会員各社と理事会(理事・監事)との交流、および会員各社間同士の情報交換との交流。会員社であることのメリットのひとつである他社会員社との情報交換による協力関係づくりを目的に開催。定例会(4回開催)延べ参加者231人(目標:240人)。定例会の開催状況は、以下の通り。

第10回開催	4月5日(金)	参加者 78名/29社
講師	渡會公士氏 福田勝氏	電通リテールマーケティング
テーマ		「店頭マーケティング& CRMの最前線レポート」
場所	日本印刷会館 2F会議室	
第11回開催	7月8日(月)	参加者 64名/30社
講師	眼龍 千里 氏	ソニー・ミュージックコミュニケーションズ クリエイティブ本部 クリエイティブオフィス部長
テーマ		「エンタテインメント・クリエイティブと進化論」
場所	日本印刷会館 2F会議室	
第12回開催	9月20日(金)	参加者 46名/22社
講師	徳永 正弘 氏	博報堂プロダクツ プレミアム事業本部 本部長
テーマ		「顧客化視点のプレミアムプロモーション」
場所	日本印刷会館 2F会議室	
第13回開催	11月29日(木)	参加者 43名/16社

講師 宮瀬 健 氏 共同印刷株式会社 トータルソリューションオフィス
 マーケティンググループ部長
 吉丸 滋美 氏 共同印刷株式会社 トータルソリューションオフィス
 マーケティンググループ課長
 テーマ 「印刷業の提供するプロモーション支援、ソリューション」
 場所 日本印刷会館 2F会議室

4) JPM新年会

詳細は総務委員会の活動報告に記載。

調査研究委員会 (委員長 武野 一俊/齊藤常任理事・安藤副理事長)

1) 第36回「プロモーション業界実態調査報告書」の発行

① 第36回「日本プロモーション業界実態調査」

プロモーション・マーケティング活動(POP広告含む)に関わる平成24年度のプロモーション・マーケティング業界の売上高を推定し、同時に受注業種別、商品業種別の活動状況傾向を探る調査結果を報告。7月全会員に配布。

・調査目的 日本のプロモーション業界およびPOP広告業界の平成24年度の売り上げ規模を推定し、同時にプロモーション業界における広告・SP業務の売り上げ状況および実態を探る。

・調査方法 郵送およびインターネットによる回答

・調査対象 当協会正会員A社、印刷工業会会員社

・実施時期 平成25年4月22日～6月7日

・調査票配布 225社 ・調査票回収数 77社 (回収率34.2%)

平成24年度のPOP広告市場規模 2,277億円(前年比100.9%)

② 第16回「広告主実態調査(プロモーション活動の計画と管理に関する調査)」

・調査目的 広告主側からみるプロモーション活動の計画と管理に関する実態および期待を探る。

・調査方法 郵送およびインターネットによる回答

・調査対象 当協会正会員B社、日本アドバイザーズ協会会員社、2012JPM協会展来場者

・実施時期 平成24年4月22日～6月7日

・調査票配布 713社 ・調査票回収数 41社 (回収率5.8%)

教育委員会 (委員長 堀井 誠一郎/草賀常任理事・安藤副理事長)

当委員会は、プロモーション業界の「共通語」としてのプロモーション・マーケティングを啓蒙・普及すると同時に、協会運営上の収益源確保の役割を担っている。そのため、受講促進活動を積極的に展開し、以下の成果を得た。

	参加者数 (招待数)	目標数
第34期「買い場」展開がよく解る基礎講座	52	70
第10期プロモーション・マーケティング入門講座	81	60
第25期インスタ・マーケティング・スペシャリスト養成講座	29	30
第13期プロモーション・クリエイティブディレクター(PCD)養成講座	36	30

個々の講座に付いての詳細内容は、以下の通り。

1) 第34期「買い場」展開がよく解る基礎講座の開講(認定職業訓練JPMビジネススクール)

「買い場」ツールの企画から素材別特徴、製作工程まで、すべての職種に必要な基礎知識を網羅的に学べる入門講座。 平成25年5月8日(水)開講。全5日間。

カリキュラム

日程	講義内容	講師
	開講式	
5月8日 (水)	プロモーション・マーケティング体系の中での「買い場」展開 プロモーション・マーケティング体系「買い場」展開の効果測定	坂井田 稲之 専務理事 坂井田 稲之 専務理事
	「買い場」の理論と実際 業態別「買い場」展開施策	吉村 寛子 (株)ヒロモリ
5月14日 (火)	「買い場」ツールの企画制作/ プロモーション・メディア&ツールとPOP制作の基本 「買い場」ツールの企画制作/効果的なPOP企画制作 「買い場」ツールの基礎知識/POP入稿のポイント 「買い場」ツールの基礎知識/販売什器(印刷・紙・インキ) 「買い場」ツールの基礎知識/販売什器(ダンボール加工)	吉村 寛子 (株)ヒロモリ 近野 慎一 電通リテールマーケティング 田中 栄一 (株)DNPエスピーテック 伊藤 賢一 凸版印刷(株) 南部 幸司 レンゴー(株)
5月21日 (火)	「買い場」の理論と実際 「買い場」展開の考え方とISM 「買い場」ツールの企画制作/プロダクトマネジメント 「買い場」ツールの基礎知識/インフレーター 「買い場」ツールの基礎知識/ウレタン成形加工 「買い場」ツールの基礎知識/プラスチック成形加工	松本 健児 (株)スピン 堀越 守 (株)電通テック 西澤 典昭 (株)凡美社 亀井 則宏 ヘルメス(株) 大木 正久 ギンポー化成(株)
5月28日 (火)	「買い場」ツール・ケーススタディ 「買い場」ツールの基礎知識/モバイル 「買い場」ツールの基礎知識/プラスチック板加工 「買い場」ツールの基礎知識/グラフィック再粘着シート 「買い場」ツールの基礎知識/布 「買い場」ツールの基礎知識/メカニカル	木全 時彦 (株)デザイン・ボード 林 直人(株)レグス 村井 潤(株)コナミ 小野悠太郎 (株)電通テック 多田 光宏 (株)丸ノ内工芸 白木 保一郎 DICフィルテック(株) 田原 績 (株)田原屋 伊藤 恒夫 国際ディスプレイ工業(株)
6月4日 (火)	「買い場」の理論と実際 「買い場」展開ツールの企画	向坂 文宏 (株)電通テック

「買い場」展開ツールの基礎知識／デジタルサイネージ
 (POPサイネージ)
 理解度テスト
 修了式

落合 功
 凸版印刷株

受講生 23社 52名(男性37名、女性15名)
 修了生 52名(第1期からの累計修了者1,955名)
 会場 日本印刷会館 2F会議室

- 2) 第10期プロモーション・マーケティング入門講座の開講(認定職業訓練JPMビジネススクール)
 プロモーション・マーケティングの企画技法を初歩から学ぶ講座。情報収集技法から戦略設計や戦術計画の立案、プレゼンテーションまでを短期間で具体的かつ体系的に学ぶ。平成25年7月2日(火)開講。全3日間。

カリキュラム

日程	テーマ	内容
7月2日 (火)	プロモーション・マーケティングの企画手法と立案ツールを学ぶ	1. プロモーション・マーケティング活動とは・・・? 2. プロモーションの手法と効き目の癖① 3. プロモーションの手法と効き目の癖② 4. プロモーション・マーケティング計画の流れ 5. プロモーション・マーケティングで用いる立案ツール 6. 「プロモーション計画」を評価しよう①グループ演習 7. 「プロモーション計画」を評価しよう②グループ演習
7月9日 (火)	ケースメソッドで実戦的に企画技法を学ぶ	8. 市場情報の集め方と整理の仕方 9. 市場情報の分析技法① 10. 市場情報の分析技法② 11. プロモーション・マーケティングの戦略設計を行う① グループ演習 12. プロモーション・マーケティングの戦略設計を行う②グループ演習 13. プロモーション・マーケティングの実行計画を作る①グループ演習 14. プロモーション・マーケティングの実行計画を作る②グループ演習
7月16日 (火)	「実務」から見たプロモーション・マーケティング	15. プレゼンテーションと講評 16. プロモーション効果とは？効果の測定法は？① 17. プロモーション効果とは？効果の測定法は？② 18. SP会社への期待 19. プロモーション営業とは① 20. プロモーション営業とは②

講師 坂井田 稲之 (一社)日本プロモーション・マーケティング協会 専務理事
 宮地 雅典 カゴメ株 中国支店 支店長
 塩川 智紀 株電通テック 第1プロモーション・プロデュース事業部 部長
 江花 昭彦 株博報堂プロダクツ 取締役専務執行役員
 受講生 23社 81名(男性53名、女性28名)
 修了生 79名(第1期からの累計修了者488名)
 会場 日本印刷会館 2F会議室

- 3) 第25期インスタ・マーケティング・スペシャリスト養成講座の開講(認定職業訓練JPMビジネススクール)
 売り場展開にWebや携帯とのクロスメディアを取り入れた、ダイナミックな「新しいインスタ・マーケティング」のスペシャリスト

育成コース。

合計5日間の集中講義+演習、そして自己学習を含む4ヶ月間のコース。平成25年9月11日(水)開講。

カリキュラム

日程	講義内容	講師	
9月11日 (水) 第一課程 (集合研修)	第1講	ISMとは？	
	第2講	ISM計画手順と店内展開方法	
	第3講	特設陳列展開の基礎知識	
	第4講	店内プロモーション手法の基礎知識	坂井田 稲之
	第5講	店内プロモーション展開でのネット系ツール活用	専務理事
	第6講	「売り場」の考え方を知る	
	第7講	「売り場」作りの基礎知識	
	第8講	売り場分析と課題設定・展開テーマの設定の演習(個人作業)	
	第9講	演習事例の検討の進め方・企画書の作成法	
9月12日 (木) 第一課程 (集合研修)	第10講	米国のISM事例①②	田中 敏明 (株)エムディ・ソリューションズ 顧問
	第11講	事例から考えるISM①②	松本 健児 (株)スピン 専務取締役
		インターネットと店内プロモーション①	伊藤 浩一 (株)DNPメディアクリエイティブ 第1クロスメディア 企画本部本部長
		インターネットと店内プロモーション②	村井 潤 (株)電通テック PP本部ソリューションプランニング &プランニング室
	インターネットと店内プロモーション③	村田 一朗 凸版印刷(株) トッパンアイデアセンター 部長	
第二課程 (ホームワーク)	①市場環境分析WS、基本方針設定 ②戦略企画 ③ブランドの価値づけ ④テーマ展開から、店内展開まで ⑤ネット展開施策開発 ⑥売り場づくり提案シナリオ開発	個人作業	
平成26年 1月16日 (木) 第三課程 (集合研修)	第13講	市場環境分析、戦略企画、売り場作り提案シナリオ	
	第14講	テーマ開発(個人作業⇒グループで絞り込み)	
	第15講	テーマに基づき具体計画策定(個人作業)	坂井田 稲之
	第16講	グループ案策定①	専務理事
	第17講	グループ案策定②	
	第18講	プレゼンテーションと講評	
	第19講	修正方向の検討	
第20講	グループ作業①②③		
1月17日 (金) 第三課程 (集合研修)	第21講	プレゼンテーション	坂井田 稲之
	第22講	理解度テスト	専務理事
	第23講	プレゼンテーション講評	吉村 寛子
	第24講	企画修正作業①	(株)ヒロモリ 取締役
	第25講	企画修正作業②	
	第26講	企画修正作業③	
2月3日 (月) 第四課程 (集合研修)	第27講	卒業プレゼンテーション①②	上原 征彦
	講演	顧客接点の変化とISMの課題	明治大学専門職大学院 教授 日本プロモーション・マ ーケティング学会会長

(修了式)

受講生 10社 29名(男性 21名、女性 8名)
修了生 25名(第1期からの累計修了者512名)
会場 日本印刷会館2F会議室

4) 第13期プロモーション・クリエイティブディレクター(PCD)養成講座(認定職業訓練JPMビジネススクール)

プロモーション領域におけるクリエイティブディレクターを養成する我が国唯一の講座。ケース演習により実践的かつ体系的に「プロモーション表現」のディレクション技法を学ぶ。
平成26年2月18日(火)開講。全4日間。

カリキュラム

課程	テーマ	内容
2月18日 (火)	プロモーション・クリエイティブの基礎知識	「クリエイティブ・コンセプト」とは PCDに必要なキー・アイデア生産の技術 「プロモーション・マーケティング」と「プロモーション・クリエイティブ」 「プロモーション計画」の進め方 「表現テーマ」の開発技法 「表現テーマ開発」実技演習
2月25日 (火)	プロモーション・クリエイティブの戦略とケース・スタディ	「表現テーマ」の講評 グループ演習①(表現テーマの設定とキーワードの開発) グループ演習②(キービジュアル案の開発) グループ演習③(店内プロモーション施策の開発) グループ演習④(POPツールの選定と内容設定) グループ演習⑤(「プロモーション・クリエイティブ提案書」の作成) 中間プレゼンテーション①
3月4日 (火)	プロモーション・クリエイティブのケース・スタディ	グループ演習⑥(表現テーマの修正・仕上げ) グループ演習⑦(キーワードの修正・仕上げ) グループ演習⑧(キービジュアル案の修正・仕上げ) グループ演習⑨(店内プロモーション施策の修正・仕上げ) グループ演習⑩(「プロモーション・クリエイティブ提案書」の修正・仕上げ) 中間プレゼンテーション② 講評に基づく修正
3月11日 (火)	プロモーション・クリエイティブのプレゼンテーション	プレゼンテーションの最終調整 「プロモーション・クリエイティブの効果測定」 プロモーション・クリエイティブの「客観評価」の手法 プレゼンテーション プレゼンテーション講評

講師 木全 時彦 (株)デザイン・ボード 代表取締役
 黒須 治 (株)ペンと鋏 クリエイティブディレクター
 駒込 雅史 (株)電通プロモーション事業局 局次長
 坂井田 稲之 (一社)日本プロモーション・マーケティング協会 専務理事
 吉村 寛子 (株)ヒロモリ 常務取締役 シニアクリエイティブディレクター

受講生 16社 36名
 前年修了生 32名(第1期から第12期の累計修了者 270名)
 会場 日本印刷会館 2F会議室

5) JAGAT(社団法人 日本印刷技術協会)主催の通信教育、「プロモーション・マーケティング基本知識講座」へ協会として協力。

セミナー委員会 (委員長 丹羽 由紀夫/吉村常任理事・安藤副理事長)

JPMセミナー2013の開催

デジタル化が定着し、消費者の購買行動が変化する状況下で、プロモーションとしてどのように対応すべきか、新しいビジネスチャンスを探るためのセミナーを実施した。

「デジタル・プロモーションの新商材大博覧会」

日時 平成25年11月18日(月)15:00～17:10
 会場 日本印刷会館2F会議室
 会費 会員1名 8,400円 一般1名12,600円
 受講者 申込者数 46名
 出席者数 44名。(参加目標:50名)
 テーマ① 「メディア設計 成功のシナリオとは」
 伊藤 浩一 氏 株式会社 DNPメディアクリエイティブ
 クロスメディア事業開発本部 本部長
 テーマ② 「デジタル・プロモーションの活用動向について」
 江島 周平 氏 株式会社 デジタルガレージ
 DG&Ibexカンパニー・マーケティングビジネス本部 第1部 統括

JPMショー委員会 (委員長 久保田 秀明/窪田常任理事・新井副理事長)

プロモーション・マーケティング業界の総合展として、その最前線を提示する協会展であること、また、長年の課題である収支状況の改善を図るべく活動した。結果は、JPMクリエイティブ・ソリューション・アワードの出品数は733点(前年802点、目標800点)、見本市参加小間数11社から15小間(前年21小間、目標20小間)と昨年を下回る結果となった。ただし、来場者数は5,630名(前年5,076人)と昨年に比べ111%と大幅に増加した。

1) 第43回「日本プロモーション・マーケティング協会展」の開催

JPMクリエイティブ・ソリューション・アワード(作品展)、JPMプランニング・ソリューション・アワード、第14回「買い場展開ツール」デザインコンペティション、見本市、プロモーション・マーケティング・セミナーの5構成で実施。

開催日 平成25年10月9日(水)～11日(金)
 会場 東京都立産業貿易センター(浜松町館)3・4階
 入場料 一般 3,000円

会員には1社につき次の通り会員券を配布した。

正会員A:30枚、正会員B・C及び海外会員:15枚、賛助会員:10枚

クリエイティブ・ソリューション・アワード出品会社:1作品につき10枚

見本市出展会社:1小間50枚

入場者数 5,630名

後援 経済産業省

協賛 公益社団法人日本アドバタイザーズ協会

一般社団法人日本印刷産業連合会

一般社団法人日本広告業協会

公益社団法人日本サインデザイン協会

一般社団法人新日本スーパーマーケット協会

一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会

一般社団法人日本空間デザイン協会

公益社団法人日本パッケージデザイン協会

公益社団法人日本マーケティング協会

日本チェーンストア協会

特定非営利活動法人 エムシーイーアイ

日本プロモーション・マーケティング学会

① 経済産業大臣賞 1点

② クリエイティブ・ソリューション・アワード(作品展) 入賞、入選作品 733点を展示(全734点中1作品非展示)

入選 639点

入賞 94点

金賞 17点

銀賞 76点

③ プランニング・ソリューション・アワード

プロモーション・マーケティング大賞 1点

ベスト・プロモーション・プログラム賞 1点

ベスト・プロモーション・クリエイティブ賞 1点

金賞 7点

銀賞 10点

2) 見本市

11社から15小間が出展

会員 7社 11小間

一般 4社 4小間

合計 11社 15小間

3) プロモーション・マーケティング・セミナー

4講座6テーマで2日間にわたり開催。2日間で257名が受講。(目標:240名)

10月9日(水)

- 第1講座 **■ JPMプランニング賞受賞作品のレビュー**
 テーマ① サッポロ金のオフ「絶対に見逃せない」キャンペーン: サッポロビール
 講師 柳 佐織氏 (株)読売広告社
 テーマ② 「日本美肌県グランプリ」: ポーラ
 講師 畑中 翔太氏 (株)博報堂
- 第2講座 **■ プロモーション最前線の報告**
 テーマ③ 「ドラッグストアの仕事を変えるスマートアクト〜タブレット端末を活用した店頭CRM」
 講師 近野 慎一氏 電通リテールマーケティング

10月10日(木)

- 第3講座 **■ JPMプランニング賞受賞作品のレビュー**
 テーマ④ 「発汗育プロジェクト〜汗かき親子体操×ゴクゴクマ〜」: キリンビバレッジ(株)
 講師 大瀧 篤氏 (株)電通
 テーマ⑤ 「アメリカンホームダイレクト みんなのMAEMUKI駅伝」: アメリカンホーム保険会社
 講師 小林 良丘氏 (株)TBWA\HAKUHODO
- 第4講座 **■ 日本プロモーション・マーケティング学会 平成24年度研究助成論文の発表**
 テーマ⑥ 「ナビゲーション・プロモーション〜デジタルデバイスを活用した購買導線づくり」
 講師 大澤 敦氏 (株)ジェイアール東日本企画

4) 第14回「買い場展開ツール」デザインコンペティション

詳細はクリエイティブ委員会の活動報告に記載。

5) ガイドブックの発行

クリエイティブ・ソリューション・アワードの入選作品734点、プランニング・ソリューション・アワード18点の写真、見本市出展会社の出展内容を掲載したガイドブックを1,600部発行し、入場者に販売した。

A4判カラー／72ページ 頒価 2,000円
 広告出稿 22社

6) 2013・43nd JPM 贈賞式

第43回JPMクリエイティブ・ソリューション・アワード、JPMプランニング・ソリューション・アワード(第11回JPMプランニング賞)、第15回「買い場展開ツール」デザインコンペティションの3部門の贈賞を行う。

経済産業省から商務情報政策局 文化情報関連産業課課長補佐 仲舎菜子氏が出席し、経済大臣賞が授与された。

日時 平成25年11月25日(月)

会場 東京會館 9Fローズルーム

出席者 300名 (広告主71名、会員162名、その他35+18、メディア14名)

出版委員会 (委員長 並川 恒巳／ 吉村常任理事・安藤副理事長)

1) 「JPM PROMOTIONAL SOLUTION EXHIBIT 2014」(年鑑)の発行

平成25年に開催された第43回プロモーション・マーケティング協会展における、JPMクリエイティブ・ソリューション・アワードの入賞、入選作品733点の全作品、および、JPMプランニング・ソリューション・アワードの入賞作品19点、買い場展開ツールデザインコンペティション入賞作品7点を掲載し3月に発行。

A4判、並製アジロ綴+カバーつき 本文 276ページで850冊発行

定価 18,900円(税込)

会員へ無償配布するとともに一般販売を行った。

広報・JPM Network編集委員会 (委員長 小林 伸行/吉村常任理事・安藤副理事長)

1) 平成25年度 広報活動

以下の広報リリースを、プレス23社にメールにて送信

- 5月17日: 「6月18日開催の定時総会・記念講演」開催告知広報
- 6月25日: 「6月18日開催の定時総会・記念講演」報告広報～GPAアワード新設
- 7月29日: 「JPMプランニング賞入賞企画決定」広報
- 8月9日: 「実態調査結果」広報
- 8月30日: 「平成25年度助成論文決定」広報
- 9月12日: 「JPM協会展 開催」告知広報 ～5つのゾーンで展開
- 10月10日/17日: 「JPM協会展 開催中」広報/「JPM協会展 開催結果」広報
- 12月26日: 「贈賞式」広報～表彰企画にみる2014年のプロモーション方向
- 12月10日～20日: 「年頭所感」(堀理事長)送付(6社)
- 1月20日: 「PM試験合格者数」広報

<課題・対策>

- ① 送信先メディアの拡大 ② 送信タイミングの的確化 ③ 送信すべきニュース素材の把握

2) 「JPM Network」の発行。

平成25年度の編集基幹テーマは、「仕事を創る人をつくる」と設定。同テーマについて4月号、5月号、6月号でアンケート結果を掲載。マネジメント研究会(11月～3月)での同テーマによる勉強会実施となった。

表紙は、コピー:多田亮三氏、AD:高橋稔氏。

平成25年4月	<年間テーマ>「仕事を創る人をつくる=内制化 内制化について考える①アンケート回答から 第12期PCD養成講座報告 「内製率を高め、協力会社業務も効率化する」講座より 第11回「プロモーション・マネジメント研究会」 「営業力とプレゼン力講座」報告(講演:博報堂プロダクツ安藤輝彦社長) 新入会企業紹介(3月度入会)
5月	<年間テーマ>「仕事を創る人をつくる=内制化 内制化について考える②アンケート回答から 第10回「JPM マネジメント定例会」抄録(スピーチ:電通リテルマーケティング・渡會公士氏、福田勝氏) 助成論文発表会、日本PM学会総会 開催 「買い場展開がよく解る基礎講座」告知
6月	<年間テーマ>「仕事を創る人をつくる=内制化 内制化について考える③アンケート回答から 「JPM GLOBALSHOP 2013 視察ツアー」報告 新入会企業紹介(5月度入会) 「プロモーション・マーケター認証資格試験」受験 受付開始
7月	プロモーション・マーケティング関連「4講座」の導入講座「買い場展開がよく解る基礎講座」 品質向上と業界の標準づくり 「GPA賞」を2014年度より新設 「プロモーション・マーケター認証資格試験」受付中 第10回JPMプランニング賞決定
8月	第44回定時総会 (運営基本方針) 第44回定時総会 記念講演 サントリー酒類宣伝部長 和田龍夫氏 インスタ・マーケティング(ISMの新視点) 講座開始告知 クリエイティブ体験学習会 報告

	PM認証資格試験「早分かり講座」告知
9月	第36回プロモーション業界実態調査 第16回広告主実態調査から 第11回「JPM マネジメント定例会」抄録 (スピーチ:ソニー・ミュージックコミュニケーションズ 眼龍千里氏) 「プロモーション・マーケター認証資格試験」受験 受付締切迫る
10月	第36回プロモーション業界実態調査 第16回広告主実態調査から プロモーション業界と広告主との「期待度・満足度」の「落差」をどう読むか POPサイネージ①売り場の新たな動機づけツール—POPサイネージ 表現計画編 品質向上と業界の標準づくり(GPA活動を推進させるGPA賞の新設) 第43回JPM協会展開催 告知
11月	第43回 日本プロモーション・マーケティング協会展 開催! POPサイネージ②売り場の新たな動機づけツール—POPサイネージ 新入会企業紹介(9月度入会) JPM贈賞式の開催 告知
12月	第9回PM認証資格試験、実施される 品質向上と業界の標準づくり(GPAアワード開始近づく) POPサイネージ③戦いの現場に表現開発のカギ 第12回JPMマネジメント定例会抄録 (スピーチ:博報堂プロダクツ 徳永正弘氏) PCD養成講座 開催告知
平成25年1月	年頭のご挨拶(堀 宏明理事長) / 理事の方々からの「新年の抱負」 会員社からの名刺広告 クリエイティブ会員勉強会 開催告知 JPM 贈賞式開催 第13回「JPM マネジメント定例会」抄録(スピーチ:共同印刷 宮瀬健氏、吉丸滋美氏) GPAアワード説明会 開催案内

プロダクツ委員会 (委員長 小田島 隆太/草賀常任理事・安藤副理事長)

第34期「買い場」展開がよく解る基礎講座(認定職業訓練JPMビジネススクール)への協力

クリエイティブ委員会 (委員長 木全 時彦/草賀常任理事・安藤副理事長)

1) クリエイティブ会員体験学習会の開催

日時 平成25年6月27日(木)

テーマ 笠間焼窯元の松佐陶工房 陶芸体験～バスで行く陶芸体験学習会～
(茨城県笠間市下市毛)

参加者 5社から10名が参加

2) 第14回「買い場展開ツール」デザインコンペティションの開催

応募受付期間 平成25年7月25日(木)～8月23日(金)

応募数 学生の部は6校から82点、一般の部は5社・団体及び個人から10点の
計92点 (前年87点)

審査会 平成25年10月8日(火)

展示会 平成25年10月9日(水)～11(金) 東京都立産業貿易センター(浜松町館)

贈賞式 平成25年11月25日(月) 東京會館

金賞2点(学生1、一般1)、銀賞2点(学生1、一般1)、銅賞2点(学生1、一般1)、佳作5点(学生4、一般1)、審査員特別賞(一般1)

3) 平成25年クリエイティブ・セミナーの開催

テーマ 「PCDプロモーションalクリエイティブディレクターに今何が必要か！」

講師 鎌田 一成氏 氏 株式会社 電通テック クリエーティブプロモーション部門 専任マネージャー
黒須 治氏 株式会社 ペンと鋏 エグゼクティブクリエイティブディレクター
吉村 寛子氏 株式会社 ヒロモリ 取締役クリエイティブディレクター
木全 時彦氏 株式会社 デザインボード 代表取締役

日時 平成25年7月19日(金)

会場 日本印刷会館 2F会議室

参加者 16社から38名 (前年29社86名)

4) 平成25年クリエイティブ会員勉強会と新年懇親会

日時 平成26年2月26日(水)

場所 日本印刷会館 2F会議室

テーマ 一部 2013・43rd JPM Promotional Solution Exhibit 入賞作品の解説
①経済産業大臣賞作品「ヘッドホン大型視聴展示台」
/株ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
②化粧品部門・金賞作品「AGミストディスプレイ」/コモンズ株

二部 特別講演「思いをかたちにする。」
講 師 永井一史 氏
(株HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長/アートディレクター)

三部 懇親会、名刺交換会

参加者 74名 (前年42名)

プロモーション・ビジネス研究委員会 (委員長 北川 盟/窪田常任理事・新井副理事長)

1) 第11回JPMプランニング賞の実施

応募受付期間 平成25年2月18日(月)～3月18日(月)

応募基準 平成24年1月1日～平成24年12月31日の間に実施されたプロモーション企画

応募総数 21社 69点 (前年16社51点)

審査結果 ●プロモーションal・マーケティング大賞
「ニッポン美肌県グランプリ」/株式会社ポーラ/株式会社博報堂
●ベスト・プロモーションal・プログラム賞
「アメリカンホーム・ダイレクト みんなのMAEMUKI駅伝」/アメリカンホーム保険会社
/株式会社TBWA\HAKUHODO
●ベスト・プロモーションal・クリエイティブ賞
「マウリッツハイス美術館展」主催者&特別協賛社共同プロモーション/(主催社)株式会社朝日新聞社
・株式会社フジテレビジョン(特別協賛社)第一生命保険株式会社/株式会社博報堂
各部門賞で金7点、銀10点を選出(次ページ受賞作品一覧参照)

2) SP領域の世界的なコンテストThe GLOBES Awardsへの選出と受賞

第11回JPMプランニング賞受賞企画の中から The GLOBES Awardsへ8点が応募。

以下の4作品が6部門で入賞。

＜ソーシャル・マーケティング部門・銀賞、消費者向け商品 ヘルスケア・美容・ファッション部門・銅賞＞

Beauty War「日本美肌県グランプリ」 広告主:株式会社ポーラ/出品会社:株式会社博報堂

＜ノンアルコール飲料部門・銅賞＞

Kirin Aikali Ion Water Children That Can't Sweet「発汗育プロジェクト～汗かき親子体操×ゴクゴクマ～」

広告主:キリンビバレッジ株式会社/出品会社:株式会社電通

＜トライアル&認知部門・銀賞、統合キャンペーン部門・銀賞＞

Hyoketsu Sparkle Your Imagination 「セカイガキラキラハジケル氷結Summer Project」

広告主:キリンビール株式会社/出品会社:株式会社電通

＜ダイレクトマーケティング部門・銀賞＞

9 Heroes

広告主:株式会社ナイキジャパン/出品会社:ビーコン コミュニケーションズ株式会社

3) MCEIが主催する国際企画コンテストへの選出と受賞

MCEIが主催する国際企画コンテスト「International Marketing Excellence Award 2013」へ2点が応募。第11回のJPMプランニング賞入賞の作品が、最高賞である金賞を獲得。

Beauty War「日本美肌県グランプリ」 広告主:株式会社ポーラ/出品会社:株式会社博報堂

第11回JPMプランニング賞 受賞作品一覧

受賞名	No.	プロモーション名	広告主名	出品会社名	共同出品会社名
プロモーション・マーケティング大賞	46	「ニッポン美肌県グランプリ」	株式会社ポーラ	株式会社博報堂	-
ベスト・プロモーション・プログラム賞	63	アメリカンホーム・ダイレクト みんなのMAEMUKI駅伝	アメリカンホーム保険会社	株式会社TBWA\HAKUHODO	-
ベスト・プロモーション・クリエイティブ賞	25	「マウリッツハイス美術館展」主催者&特別協賛社共同プロモーション	(主催社)株式会社朝日新聞・株式会社フジテレビジョン(特別協賛社)第一生命保険株式会社	株式会社博報堂	-
統合型プロモーション企画	金賞	1 「一番搾りフロズンガーデン」体験をコアにした「一番搾りフロズン<生>」市場導入キャンペーン	キリンビール株式会社	株式会社博報堂	株式会社博報堂プロダクツ
	銀賞	6 サントリーコーヒープラス×ソフトバンクモバイル コラボプロモーション	サントリー食品インターナショナル株式会社 ソフトバンクモバイル株式会社	株式会社電通	株式会社電通アドギア 株式会社電通テック
ブランディング・プロモーション企画	金賞	20 「カルビー遠足に行こう！」キャンペーン	カルビー株式会社	株式会社大広	-
	銀賞	21 セカイガキラキラハジケル氷結Summer Project	キリンビール株式会社	株式会社電通	-
新規顧客獲得企画	金賞	26 9 Heroes	株式会社ナイキジャパン	ビーコン コミュニケーションズ株式会社	-
	銀賞	30 IKEA Docutainment Show in Fukuoka!	イケア・ジャパン株式会社	株式会社アサツー ディ・ケイ	-
	銀賞	34 ハウス スライス売場活性化プロモーション	ハウス食品株式会社	株式会社読売広告社	株式会社読売クロスコム
既存顧客維持企画	金賞	-	該当作品なし		-
	銀賞	41 マウントレーニアダブル プレミアムメンバーズ	森永乳業株式会社	株式会社博報堂	-
事業所向け企画	金賞	-	該当作品なし		-
	銀賞	-	該当作品なし		-
インスタ・プロモーション企画	金賞	45 発汗育プロジェクト ～汗かき親子体操×ゴクゴクマ～	キリンビバレッジ株式会社	株式会社電通	-
	銀賞	44 テックス東京ビーチ「キラキラ・アイ」プロモーション	住商アーバン開発株式会社	株式会社読売広告社	株式会社読売クロスコム
インナー・プロモーション企画	金賞	-	該当作品なし		-
	銀賞	49 創業125周年 生きるを支えるプロジェクト	朝日生命保険相互会社	株式会社読売広告社	株式会社読売クロスコム
デジタル・プロモーション企画	金賞	54 サッポロ 金のオフ「絶対に見逃せない」キャンペーン	サッポロビール株式会社	株式会社読売広告社	-
	銀賞	59 湘南国際マラソン特設サイト ～湘南国際マラソンでEXCELLENTを起こそう！～	株式会社ニューバランスジャパン	株式会社デジタルガレージ	-
社会貢献プロモーション企画	金賞	60 「東京ホテル」～東京を世界に誇れる美しい都市へ～	東京ホテル実行委員会(墨田区、台東区、東京商工会議所他) ※共催:東京都	株式会社博報堂	-
	銀賞	62 アスクル コドモ アート プロジェクト	アスクル株式会社	株式会社アサツー ディ・ケイ	-
低予算プロモーション企画	金賞	66 「欲望に素直になって、ハンバーガーにかぶりつこう」プロジェクト	株式会社フレッシュネス	株式会社電通	-
	銀賞	68 学習机×書店で新規販売チャネル開発プロモーション	コイズミファニテック株式会社	株式会社読売広告社	-

- 4) 第12回 プロモーション・マネジメント研究会の開催
 マネジメント層を対象に、「『仕事を創る人』をつくる」講座として5回にわたって開催した。
 プロモート活動
- ・会員社への案内送付 申込締切（第一弾9月24日、第二弾10月17日）
 - ・さらに申込促進プロモーションを、10月上旬、理事、前回出席社等に行う。
 - ・申し込み：17社23名（目標30人）

日程	テーマ	講師
< 1 > 11月19日(火)	個人の力とチームの力	電通 クリエイティブディレクター 澤本嘉光 氏
		電通 プロモーション・デザイン室長 池永忠裕 氏
< 2 > 12月16日(月)	創る企業を目指して	博報堂プロダクツ 執行役員 吉田賢治 氏
		東北新社 専務取締役 CMディレクター 中島信也 氏
< 3 > 1月10日(金)	高質化と効率化	DNPメディアクリエイティブ 渡辺昌之 氏
		資生堂 宣伝制作室クリエイティブディレクター 天野衣恵 氏
< 4 > 2月10日(月)	得意先企業の内制化	日本コカ・コーラ シニアマネジャー 竹下健一 氏
		西友 シニアバイスプレジデント 富永朋信 氏
< 5 > 3月7日(金)	マネジメント手法	経営コンサルタント 橋詰 徹 氏

サイン委員会（委員長 落合 功／草賀常任理事・安藤副理事長）

- 1) POPサイネージを活用した買い場展開の仕事に、新たに取り組みをする上での道しるべとなるガイドラインの検討を行なった。
- 2) JPMNetwork10月号、11月号、12月号、3月号に、「売り場の新たな動機づけツール POPサイネージ」を掲載。
 10月号「売り場ごとに、ブランドの顧客開拓力を強める」
 11月号「多様な客の、多様な買い方ごとに、最適な動機づけをする」—表現計画のガイドライン—
 12月号「戦いの現場に、表現開発のカギ」—表現計画第二弾—
 3月号「複数の専門性を束ねる『統括機能』が決め手」—運営管理のガイドライン—

プロモーション・マーケター認証資格委員会（委員長 富田 義弘／齊藤常任理事・安藤副理事長）

当第9期までの累積延べ受験数が7,299人となり、有資格者数は4,394人に至った。また、非協会会員社の受験派遣比率が53%となり、業界全体の資格へとして確実に裾野が広がっている。

- 1) 第9期プロモーション・マーケター認証資格試験を実施。

受験者数は898名のうち合格者は530名。合格者累計は4,394名。（前年累計3,864名）

試験日 平成25年11月3日（日）

試験会場 東京／お茶の水女子大学、大阪／天満研修センター、名古屋／名古屋大原学園 名古屋校

受験者プロフィール	業種別会社割合(163社)	年齢別割合(898名)
	広告主 18%	20代 45%
	広告会社系 15%	30代 35%
	広告制作会社系 17%	40代 17%
	SP・マーケティング系 17%	50代以上 3%
	印刷会社系 28%	
	ディスプレイ会社 4%	
	その他 6%	

試験に先立ち直前受験対策講座を開講した。延べ4日。受講者数 433名。

講座日 9月21日(土)、9月28日(土)、10月14日(月)、10月20日(日)

会場 日本印刷会館2F会議室

2) 認証資格更新

本年は、第4回目の更新受付を行った。

更新率(平成25年・4回目) 49.8% 337/676名 (前年329/519名)

更新率が50%に満たず、今後更新率を向上するための施策が必要。

そのため①資格保有者、②企業担当者に向けた施策を実施する。

3) PMF (Promotional Marketers Forum) メールマガジンの発行(発信)

対象:プロモーションナル・マーケター・フォーラム(PMF)会員

平成23年7月より隔月15日にメールマガジンの配信を継続。

読者 PMF会員約1,682人(2,014年1月15日号の段階)。年齢は20代後半～30代が中心。

媒体の位置づけ 「PMのプロ」を目指している人たちへのアドバイス、業界情報提供による会員間を結ぶコミュニケーションマガジン。

4) プロモーションナル・マーケターズ・フォーラム・セミナーの開催

日時 平成25年8月20日(火) 15:00～17:30

会場 日本印刷会館 2F会議室

受講者 出席者数 61名、申込者数 75名(目標:50名)

第一部 講師 菊盛 真衣 氏 / 慶應義塾大学大学院 商学研究科・修士課程2年

テーマ 「eクチコミ効果へのブランド熟知性の影響—消費者のブランド評価に着目して—」

第二部 講師 渡辺 将行 氏 / 江崎グリコ株式会社 菓子営業部首都圏統括支店

テーマ 「五感刺激(香り・POP)による店頭プロモーションがショッパーの購買行動に与える効果検証」

第三部 講師 藤澤 博弥 氏 / 株式会社ヤクルト本社 直販営業部 チェーンストア課 課長

テーマ 「価値提案型のSP活動による量販店との取組みに向けて」

日本プロモーションナル・マーケティング学会 (委員長 石川 勉/齊藤常任理事・安藤副理事長)

より実質的に産学の共同推進を実現する為、研究論文の部を「学術研究」と「実務研究」の2部門で運用した。

なお、協賛社は目標が25社であったが、結果20社の協賛となった。

1) 「平成25年度研究論文・研究レポート」助成

応募27点の中から以下、11点に助成決定。

①研究論文(実証研究、事例研究、理論研究)

学術研究 4点 実業研究 4点

②研究レポート(学士論文相当、実証研究)

大学学部生 3点

2) 第4回学会総会の開催

日時 平成25年3月18日(火)
場所 日本印刷会館 会議室 2F会議室
内容 学会総会
研究発表
産学交流懇親会

3) プロモーション研究推進委員会 の活動

実務に役立つ研究に取り組むため当委員会(学会役員6名、実業界3名)を設置し、産学協同での活動方針の策定、助成研究、査読付き論文の評価・選定を行なう等について決定した。

- ①研究論文は、学術研究(実務に示唆を与える研究)と実務研究(実業界のニーズによりプロモーションのメディアミックスに関する研究)の2種類に分けて行う。新たに「社会に価値あるプロモーション研究」の募集を行なう。
- ②査読付き論文の評価と指導は、プロモーション研究推進委員会の学術界と実業界のレフリーが共同で行う。

4) 流通経済研究所、MCEIとの連携

(財)流通経済研究所の「流通ビジョンセミナー『流通大会2013』」[2014年2月5日(水)～7日(金)、22日(金)]の後援。
MCEIとは、日本プロモーション・マーケティング協会を通じて、連携の強化をはかった。

5) 学会員の構成(平成 26年 1月10日現在)

学会員 A	学術界の研究者	21名
学会員 B	実業界の研究者	6名
学会員 C	プロモーション・マーケター資格の取得者	129名
学生会員	学生の研究者	18名
	小計	174名
学会員 D	法人の協賛会社 20社×5名	100名
	合計	274名

グッドウイール・プロモーション・アライアンス推進委員会 (委員長 田中 茂/窪田常任理事・新井副理事長)

プロモーション業界における「健全なプロモーション」を目的に、「効果性・社会価値性・遵法性」を有するプロモーション企画実施の浸透を図る活動。2014年JPM協会展より「GPAアワード」を新設することが決定し、会員各社に応募および推進の役割を担う「GPA主査」を設置することで、その運用が始まった。

(活動の概要)

1. GPA賞(アワード)の位置づけ、審査基準等の検討など、GPA賞設定にむけての準備
2. 「効果性」「社会価値性」「遵法性」の点検項目の見直し。
4. 「GPAアワード応募(窓口)責任者」設置の依頼、「説明会」の設定
5. 「GPAアワード」、26年度JPM協会展での発表方法の検討

(当期活動内容)

第24回 平成25年4月25日(木) 16:00~17:30

- 1、5月15日定例理事会発表用<GPA主旨・制度骨子等>資料作成
- 2、GPA賞の位置づけ・審査基準等

第25回 平成25年5月29日(水) 16:00~17:30

- 1、GPA賞の応募要項・エントリー

第26回 平成25年6月27日(木) 11:30~13:00

- 1、「GPA賞」の、2014年度協会展での新設発表・展示について
- 2、「GPA賞」の審査スケジュール、エントリーシート、審査について

第27回 平成25年7月30日(木) 16:00~17:30

- 1、GPA賞POP部門の「点検シート」「エントリーシート」について
- 2、GPA賞応募要項の確認(対象期間・応募期間)
- 3、来年、協会展で行うGPA賞の見せ方について

第28回 平成25年8月30日(木) 16:00~17:30

- 1、GPA賞/POP部門の「3項目マネジメント」「点検シート」(記入例)について
- 2、GPA賞(企画部門、POP部門)の審査方法・評価視点について
- 3、GPA賞の広告主企業の取り込み(協力依頼・審査員)について
- 4、GPA賞2014年協会展での発表の仕方・内容について
- 5、GPA賞実施に向けたスケジュール

第29回 平成25年9月26日(木) 11:30~13:00

- 1、GPA賞の審査基準~審査視点(視座)について
- 2、審査員について

第30回 平成25年11月6日(水) 11:30~13:00

- 1、11月25日贈賞式にて「『2014年度よりGPAアワード新設』を発表」について
- 2、審査・評価について
- 3、「GPA賞担当者(窓口)設置」依頼、「GPA賞担当者(主査)設置」説明会について

第31回 平成25年12月12日(水) 16:00~17:30

- 1、手順に従って行う点検シート(企画部門、POP部門)の確認
- 2、改定「GPAガイドブック」(ページ構成)の確認

第32回 平成26年1月22日(水) 16:00~17:30

- 1、「GPAアワード説明会」の運び方と説明内容について
- 2、応募促進
- 3、GPA主査講習会の設定

第33回 平成26年1月27日(月) 16:00~17:30

- 1、GPAアワード説明会

第34回 平成26年2月27日(木) 16:00~17:30

- 1、GPA主査講習会(3月6日)について

第35回 平成26年3月6日(木) 15:00~16:30

- 1、GPA主査講習会

関西部会 (委員長 辻本 良雄/宮瀬常任理事・清水副理事長)

- 1) 研究会の開催

①創る人をつくる 女性の買い場観察&買わせるPOP仕掛け塾

- 第一部 近頃の買い場を考える (女性目線で歩いてみると…)
 講師 吉村 寛子 氏/㈱ヒロモリ 取締役 シニアクリエイティブディレクター
- 第二部 商品を購入させるPOPづくりの奥義 (アイデアをいかに具現化していくか)
 講師 林 直人 氏/㈱レッグス クリエイティブディレクター
 日時 平成25年7月5日 (木)
 会場 大阪国際交流センター 小ホール
 入場者数 29社109名 (会員20社99名・非会員9社10名)

②2013・43nd J P M PROMOTIONAL MARKETING SOLUTION EXHIBIT 「スライドによるJ P M入賞作品 大阪展」

- 講師 久保田 秀明 氏
 日時 平成25年12月4日(水)
 会場 大阪国際交流センター 小ホール
 入場者数 39社170名 (会員22社132名、非会員17社38名)

③第12回電通・博報堂W講演 2015年度消費・生活トレンド予測

- 第一部 テーマ 「生活動力2014」インフラ友達 人の〈役割〉を発掘する時代へ
 講師 小原 美穂 氏
 (株)博報堂 生活総合研究所 上席研究員
- 第二部 テーマ 「消費潮流2014+「所属価値」の時代」
 講師 袖川 芳之 氏
 (株)電通 電通総研 消費者研究部 研究主幹
- 日時 平成26年2月19日(水)
 会場 大阪国際交流センター 小ホール
 入場者数 19社 67名(会員15社 60名、非会員4社 7名)

- 2) 部会情報紙「関西かわら版」の発行
 上記研究会の講演レポートと号外の計5回発行。